夕刊
いわき民報
発行所
平市田町 電381 1222
いわき民報社
編集兼印刷発行人 田原登

春櫻酒
ブラジル
並木通 電990

跨線橋問題協議

十日臨時市會 豫算增額か

平市臨時市会は十日午後一時から開く、提出議案は次の五件、懸案の跨線橋建設事業は愈々水戸管理局で研究中の設計図も出来上り去る四日、同局から川崎主査ら一行五名が市当局と予算その他で打合せたが、この設計によると総予算千三百七十五万円、現在の平駅前三十米道路から真直ぐ城山物見カ岡、防空壕舎脇まで延長百二十八米有効幅延三米の階段式のもので車馬類は通行出来ない、なお跨線橋の途中で駅桟橋に改、出札口を設けるのは第二期工事で行う予定となつている、市の負担金は現在五百万円の予算をとつてあるが幾分増加せねばならぬ模様で九日午後二時から跨線橋建設促進特別委員会を開き協議する

▼跨線橋建設の件▼二十七年度追加予算▼健保条令改正▼二十七年度健保予算追加更正の件▼道路占用条令一部改正の件

高木事務官視察

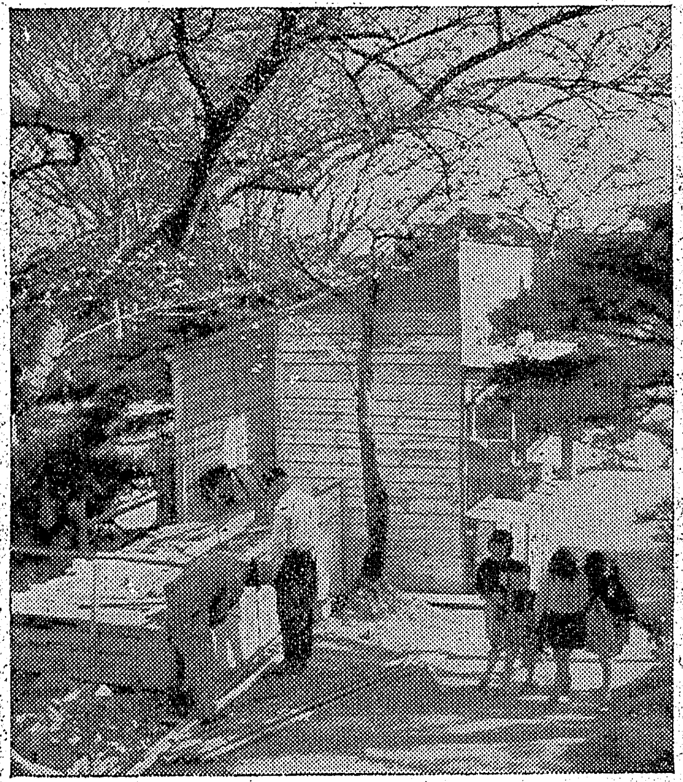
建設省高木事務官ら一行は九日鮫川水力発電所建設予定地の上遠野村皿貝、洞坂の現地視察のため来平する

鮫川發電の許可問題

十一日 松本會長ら陳情へ

松本石城町村長会長山田、田人、磐崎、小名浜、入遠野、上遠野、内郷、川部、四倉の各町村会議長及び橋本事務局長ら十一名は十一日鮫川発電所水利使用権許可促進に関する陳情書を携え上京、建設省、公益事業委員会へ提出することになつた

鮫川発電所建設は昨年来日本鉱業（日立）と常磐炭鉱の間で県に水利使用許可の申請を提出し競願の形になつているもので地元では常磐炭鉱に許可して欲しいというもの



三阪村中堅青年

三阪村中堅青年研究会では六日総会を開き会長佐藤徳男、幹事石川善一、吾妻武、松本豊、松崎永郎の諸氏を改選した

消防演習

十六日勿來で

勿来消防団では来る十六日勿来小学校々庭で春季消防演習を行う

道路期成同盟會生る

五年計畫 會長に植田縣議

豊間四倉間

磐城舞子観光協会総会をかねて四倉豊間間の観光産業海岸道路開設期成同盟会はさる六日午前十時より四倉町柏屋旅館で開き平鐵に関内衆院、木村参院両議員のほか県より八島民生部長、計画課福田、鈴木両技師が来会、関係各町村より三役、庶務主任、正副議長が参加して開かれた

観光協会の予決算承認のち海岸通路を五カ年計画で建設すべく強力に県予算の獲得に運動することを決定、左の役員を選定した

▼会長植田万治郎（四倉町、県議）▼副会長青木半次郎（夏井村長）▼理事関係各町村

九万圓預金を忘れ現金は保管してる

横領容疑の宮局長荒氏陳述

昨報＝預金十万余円を横領した内郷町宮郵便局長荒勝治（四七）は七日業務上横領容疑で身柄送検され直ちに勾留されたが、地検平支部平井検事に対し荒は『二十三年三月ごろに同町峰根石田キンさん（五七）に預金を頼まれたうちの九万円は預金を忘れて現金のまゝ窓口で保管しておいた、また伊勢谷ツルさん（五〇）から払戻しを頼まれて払戻した一万五千円は勝手に使つたが事後承諾を得ている』と容疑の一部を認めた

クレー射撃大會

十二日根岸で

県猟友会植田支部では来る十二日早朝から上遠野村根岸の山野でクレー射撃大会を開催する

生産強化へ豫備審査

四倉土地改良區

四倉土地改良区総会は六日四倉小礼法室に開き同町の農地現況は水田六十五町歩、畑六十五町歩で狭あいなので強度の生産化を計るため区劃整理、交換分合を行うために県の予備審査をうけることを議決総代役員には会長植田万治郎、理事長谷川長太郎ほか九氏、監事佐藤唯之助氏ほか一名を選んだ

防火用水槽

請負者決る

小名浜町経済委員会は七日午前九時より町長室で開き、第二中学校々庭構内の防火用水槽一基（長さ十米、横八米、水深二・五米）の新設入札を行つた結果、三十七万九千円で同町鈴木組（鈴木一氏）が落札決定したほか同町古港六号線（小野長寿さん方ー丹消治さん方に至る）道路拡張については関係地主（七世帯）の全面的な協力を得た上で急速に本工事へ着手すること、決めた

常磐交通卅万圓 釜屋は二十万圓

磐高の復興へ寄附

常磐交通（野崎満蔵社長）では卅万円、釜屋（諸橋久太郎氏）は廿万円、塩屋（山崎与三郎氏）は五万円をこのほど磐高復興資金に寄附することに決定、関係者を感激させた

伊藤專務五千圓

福島県炭鉱購売会連合会専務伊藤親雄氏は過般亡くなられた母堂の遺言により五千円を今回磐高復興資金に寄附した

サクラ咲き初む

例年より一週間も早い 公園に掛茶屋も出る

○…平市松カ岡公園の桜はこゝ二、三日ぐつと暖かゝつたので各枝にちらほら花をのぞかせ二分咲きといつたところー例年より一週間早く七日の気温も平年より五度高く平均気温二十度だつた、花見客もポツ〳〵増え、アベツク姿も悩ましい程に青春の浮き心をたゞよわしている

○…十日から始まる桜祭りに備えて掛小屋は九軒も出来、果物ラムネ、ゆで卵などかざつて客を待ち公園内の料亭には団体花見客の申込みが殺到『早く申込まないと困りますよー』と嬉し顔だつた（写真松カ岡公園の桜）

常磐炭鑛の幹部異動

常磐炭鉱では本社及び磐城鉱業所で次の様な人事異動が四月一日附で行われた

▼本社事務部次長兼総務課長 大竹文雄

▼本社事務部次長兼経理課長 工藤徹郎

▼磐城鉱業所事務部次長兼労務課長 木山茂彦

聽力障害者

十日に検診

石城福祉事務所では聴力障害者の補聴効果検診を十日午前九時半から午後三時半まで石城地方事務所会議室で行う、検診の結果、補聴器の必要な者には生活困窮者の場合無償、一般には有償で支給する

海上保安部機構を改革

小名浜海上保安部機構改革に伴う人事異動は七日次の通り決定、従来までの管理、警備救難、海事検査の三課のほかに総務、会計（管理課）警備、哨戒（警救課）の四係が新設三課四係となつた

▼総務部長事務取扱、鈴木実（管理課長）▼会計係長、佐藤四郎▼哨戒係長、池田喜好▼警備係長、田村邦雄

十二コースを選定

觀光ルート打合會

国鉄平営業所主催の石城地方観光地廻りルートの選定打合会は七日午後一時から平市田町平鉄道クラブで郡内の七観光協会、平物産観光協会、常磐炭鉱、交通公社、常磐交通など関係者約二十名が集まつて開き東京、仙台、県中通り方面の各会社、工場などへ広く石城観光地の宣伝と旅客誘致を計るべく選定を行つた結果、一泊二日又は日帰り程度の十二コースを選定した、この観光ルートは県で浜通り、中通り、会津の三地域をまとめ上げ県観光宣伝の為リーフレットを製作して大いに宣伝することになつた、なお石城地方の今年の海水浴客誘致対策については各浜を総合した一つの観光ポスターを造り各浜では個々に宣伝することに決め五月一杯に完成するよう申し合せた

天気予報

八日

【今晩】南東のち北の風曇りがち時々小雨【明日】北のち北西の風はじめ曇り小雨もようの天気のち晴れる 海上今晩は南風強く夜半すぎに突風のおそれあるから御注意下さい

◇スマヤ牛乳大勉强◇
格別の御引立を頂きまして誠に有難う存じます永年の御得意様に対する御礼として四月一日より左記通り配達を致します 何卒旧に倍して御愛顧の程お願い申上げます
◎栄養満点 一合 金拾圓 ◎殺菌完全
スマヤミルクプラント部
小名浜町本町 電話十番

★婦人週間に贈る記念番組★
女性のファンのみでなく男性の方々にもぜひ御覧願いたいと存じます
MGM超特作 總天然色映畫
塵に咲く花
グリア・ガースン ウオルタア・ピジョン主演
★キネマ旬報29号評
『しみじみと心温る佳作、母ものの変型としての品位とすなおな感動を誘う幾多の場面があり・デモクラテイツクな正義感があつてよい、ガースンの全盛期の出演であるだけに張りのある演技を見せウオルタア、ピジョンと共に貫録は充分、天然色の色彩効果は特筆に価いする』
十日まで上映中
聚樂館

御遺族に急告
平市石城郡連合遺族会主催にて戦没英霊の慰霊祭を左記により行いますから多数御誘い合いの上御来会下さい
なおこの広告をもつて御通知にかえます
記
日時 四月十日午前十時開始（時間厳守のこと）
場所 平市公會堂
主催 郡市連合遺族會

買う方の心で賣る店

素人のど自慢 オリエ津坂ショウ 参加者募集
ピアス愛用者招待 於平市公會堂
オリエ津坂ショウが4月12日
午後5時開催されます 同時に素人のど自慢を催しますので
参加者を10名様もとめます 奮つて御参加下さい
申込所は 大黒屋本店化粧卸部（定員を超えるときは抽せんにより10名様決定）
應募期日 4月10日限り

平競輪
11時発走
小雨決行
桜まつりと覇を競う豪華レース
場外車券発売
平市三町目
郡山駅前
4月
13 14 15
18 20

わが思い出

三十餘年前

吉屋貞一

婦人週間が近ずいて、県の婦人大会も平公会堂に催され、立すいの余地ないまでの大入超満員の盛況を窺うと何れも口を揃えて婦人の地位向上を説かれる祝辞を拝聴しながら、思わず三十余年前の昔語りを回想するのは春の日永のせいかも知れない。その頃の私は二十七、八歳で、福島新聞の記者を勤めていた。当時の編集局は文筆が達者なばかりでなく、天下国家を論ずる豪の者が多く、共に机を列べた連中には後の釘本、大内両代議士の外に福島民報社長になった中目夜雨、県会議員に出た紋付で白足袋常習の三田白夜、県政友会幹事長に選ばれた平谷馬城の諸君がいて、私まで柄にもなく未来の政治家を夢みたとはユーモアたっぷりの次第で、これも若気の致すところか。

その頃の県知事は山岡流剣道の達人、西久保弘道氏で後に警視総監から勅選議員に進んだ快男子であったが、夫人は吉原の遊女あがりと噂されたけれども品位ある姿態と聡明な資質は極めて評判がよかった。夫妻とも育英に熱心で、私費を投じて他人の子弟を引き受け、専門の学校を卒業させた数は多いと聞いている。時の市長もまた風格に富む一宮哲二氏で予備砲兵大尉との話であったが、少しも威張ったところなく、哲人市長のあだ名があってどんな仕事をするか、どんな手腕があるのか、わからなくても人気のある男で私など時おり訪ねて人生放談に口角泡を飛ばしたものだ。この人は二期以上勤めたそうである。

県立福島高女の熊田校長（今の成渓女子高校創立者）は教育家として令名のあった温良の君子人で、ある年の卒業式に知事代理の内務部長大芝惣吉氏が式辞を述べ、良妻賢母の一点張りで訓話が終ると、校長が来賓席に来て二、三の有志に祝辞を促がすように見え、遂に私の前に現われ、勧めを受けたので、御免を蒙って壇にたち『良妻賢母はもとより結構なこと、思いますが、今後の女性も一個の人間としての修養を充分に積むよう心掛けて欲しいと存じます云々』と述べて席に着くと、大芝氏は年少客気の私をあわれむような、笑うような表情で『君達の年頃はとかく理想論になりがちだよ、然し年をとると変るだろう』と皮肉にも聞えたが傍にいた河内検事正は私の方を向いて『僕は君に同意見だよ』と励ましの助け舟を出してくれた。（本社客員）

サービスを改善

四月競輪　空前の盛況か

四月平競輪は前節十三、四、五日後節十八、九、二十日開催される平桜まつり始め山神祭巻の期間中に行われるので盛況が予想されているが前節はA級三レースB級七レース女子二レースとなっている市競輪課ではその宣伝に次のプランを樹て入場料は今度から十円（従来二十円）と改正、ファンのサービスに力を入れている

▼松カ岡公園北入口と駅前に無料バス停留所を設け桜祭りに集まった客を吸収する

▼競輪場では毎日、先着五百名にスピードクジを渡し一等五百円（一本）二等三百円（二本）三等百円（五十本）四等賞品（百個）をプレゼントする

▼ハズレ券は今度から三十枚に一枚の割で交換、抽選で特賞五千円（一本）一等千円（十本）二等五百円（十一本）三等二百円（二十二本）四等百円（百本）を賞金として出す

映畫と講演會　十二日湯本町

平検察審査会、平家庭裁判所共催映画と講演会は十二日午後一時から湯本町公民館に開催する、演題は『国民の権利擁護の為の一般法律問題』『家庭裁判の広報活動としての少年犯罪防止と家庭問題』

宮派出所落成

内郷地区署宮派出所落成式は十日午後一時から警察署会議室に挙行する

學校基本調査會

教委事務局石城出張所主催平市郡学校基本調査打合会は十日午前九時から平一小に開く

酸素ドロ擧る

小名浜地区署では中村町原釜字北谷地四〇漁夫館岡義雄(二四)を窃盗容疑でこのほど身柄送検した　昨年七月二日午前一時ごろ小名浜町小屋内鉄工兼倉兼常八さん方から酸素瓶二本一万円相当、同夜同町辰巳町鉄工業鈴木丑松さん方から酸素瓶一本五千円相当、更に同年七月五日前記鈴木さん方から酸素瓶三本一万五千円相当を盗んでいたことが判り検挙されたもの

少年共謀で盗む

内郷町宮字宮沢と白水字入山の十七少年二名は共謀で去る一月下旬ごろから三月上旬までの間に前後三回に亘り常磐炭鉱住吉一坑炭車修理場から炭車メタル十六コ二十貫十六百円相当、鉄屑三十貫千四百円相当を盗んだ疑いで一日内郷地区署に捕まった

高野次長榮轉

常陽銀行平支店次長高野英太郎氏は茨城県同行麻生支店長に栄転一日附で発令された

問題の拳銃で證言

闘争派公判　被告らに不利

平事件統一斗争派日野定利ら百七被告の併合第四回公判二日目は八日午前十時十分から地裁平支部に山田裁判長係りで開かれ、昨日に引き続いて証人尋問が行われた、先ず証人に立った平市署員山田学巡査は『平地区署渡辺司法主任の指揮で織井巡査が平子正孝被告に奪われた拳銃の押収捜査に出かけ内郷町白水字川平で拳銃が隠されてあった場所の写真を撮した』と平子、鈴木（盛）の両被告に不利な証言をなし被告らと押し問答をしていたが正午休廷、午後一時再開され拳銃の捜索指揮をした平地区署司法主任渡辺緑警部補の尋問が行われた、次回は十四、五日

七日開かれた平事件統一斗争派併合第四回公判午後は一時再開、午前中から引続き村上証人に対する鈴木検事の尋問は三時まで行われ次いで弁護団から反対尋問、更に松本被告が尋問の途中で裁判長から『重複しないように』と注意すると大塚弁護人は興奮して『今朝からの裁判長の態度は我々を抑えつけているようだ、重複するのはあたりまえだ』と食ってかゝる、証人の証言は何れも被告らに不利であった、五時十分に被告らから『五時二十五分の汽車で帰りたいから閉廷して欲しい』と要望、そのとき弁護団、検事側から補足尋問があり時間が経過したゝめ被告側が怒り出し『尋問を続けろ』と言い出し五時十五分一たん休廷、同三十分に再開され六時十分まで尋問が続けられ午前中から村上証人だけで終始し根本、若松の両証人の尋問は延期となり六時二十分閉廷

神社の銅板泥擧る

二人組　神罰はてき面

内郷地区署では七日同町綴字秋山一一日雇土工齋藤七郎(三一)同町綴字一の坪五一日雇土工某(一九)の両名を窃盗容疑で逮捕した　両名は共謀で去月十六日夜同町綴字板倉一〇〇農山崎箴さん管理の板宮神社の屋根銅板二十二枚二千円相当をペンチではがし盗んだほか、同月十五、十九の両日二回に亘り同町綴字町の内農沼田敬助さん管理の同町綴字秋山一六三八坂神社の屋根銅板三百枚（八貫）七千五百円相当を盗み同町綴字一の坪一古物商若松イツさん(四一)方に売っていたもので余罪ある見込み

傷害に不起訴は不當と申立

川部村沼部字宿農業大井川ツメさん(六五)は同字農業芳賀サダ子さんに対する傷害事件の不起訴処分は不当だと三十一日平検察審査会に申し立てた　芳賀さんは昨年五月二十九日午後七時十五分ごろ大井川さんと口論の末暴行、全治二週間の傷害を負わせたという疑い

心中に使うと拳銃を所持

鐵道員を檢擧

平地区署では七日好間村川中子平保線区踏切警手柴野吉之助(三五)を銃砲刀剣等所持取締令違反の疑いで身柄送検した、十四年式ピストル一丁と実弾六発を持っていたもので、同人は去る廿四年三月ごろ赤井村西小川無職鈴木一男(三〇)の世話で勿来町の奥村某から七千円で買ったもので当時肺尖カタルを病み生活苦から親子心中を図ろうと買い入れたが病気が治ったので其のやり場に困り二年間隠していたと自供している、またピストルの買い入れを世話した鈴木は柴野が『密輸船に乗っている友人からピストルを買ってくれ』と頼むので平市柳町の無職宍戸幸雄(三二)の斡旋で勿来町の某から買ってやったと云っている

人事

小名浜海上保安部無線通信所技術員安達利夫氏は一日附で八戸海上保安部巡視船『はつかり』電信長に発令

盗難

東京都世田カ谷区若林町三七三材木業池田寛さん(三〇)は七日常磐線上り急行二〇四列車の二等車内洗面所で金側腕時計一個（八千円相当）を盗まれたと平鉄道公安室へ届出た

JOCP ラジオ JOTQ

ローカル　平放送（9日）

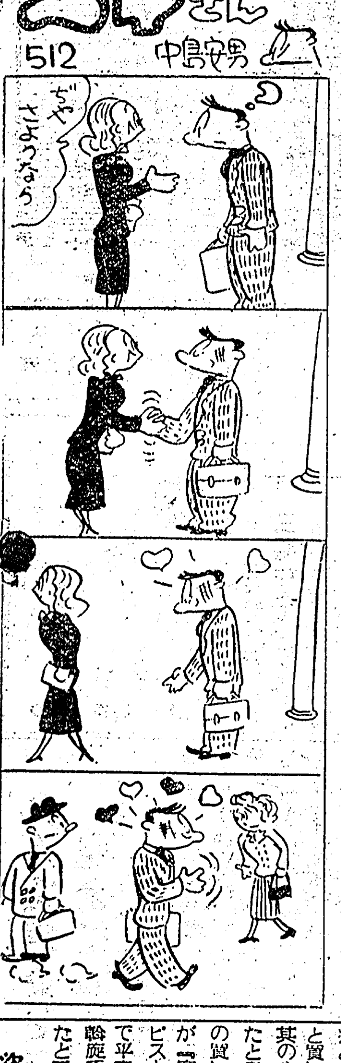
前七・一五　ラジオ商工だより『看板広告の効果』福島広告研究会

前一〇・一五　春のラジオクラブ『音楽と作文』安達郡油井村小児童団

後〇・三〇　食後の音楽『絃楽四重奏団』福島放送合唱団

後五・四五　子供の時間『子供のころのあの人この人』福島放送劇研究会

後六・三〇　希望探訪


ロマさん
512
中島安男
ぢや
さようなら

開店
お座敷女中さん　数名
壽司職人見習　数名
至急求めております　委細面談
江戸川支店　紅小路　電一四五六

眼鏡専門　各眼科医指定
玉屋
平市二丁目　電910

プラザー
【最高級品】
ブラザー　トヨタ
デユーキ　パイン
石川ミシン商會
平市2丁目　電1232

通學服
かや

預金と無尽
株式会社 大東相互銀行
平市大町　電110 378

東北酒界王座
爛漫
中華料理
日本料理
天ぷら
トンカツ
中央通 東竜軒 電1136

天然記念物
長鳴鳥
唐丸種卵 分譲中
良く効く虫下し
平市公会堂前
橋本小鳥店

無記名にもできる
常陽の幸運定期
3月6日よりお取扱 4月24日抽せん
10万円等16本の贈物！
1口千円 無税　6カ月 総当り
つねに明るい 常陽銀行

いわき名物　銘菓
常磐 黒ダイヤ羊羹
常磐 黒ダイヤ最中
発売いたしました
市川パン店　平市田町 電936

婦人服と紳士服生地
御注文は技術本位に御調整
平市銀座通　電265
マルエ

江戸前壽司
割烹 小料理 和洋食 そば
◇明るく衛生的で手軽く安い奈加やの味覚をゼヒ!!
出前迅速
奈加や
平才槌小路 電395

時計は ホシノ
平・中央通
電一三六四

祝祭日には必ず
國旗を掲揚しましょう
=講和日本、平和日本=
講和記念日の五月三日には一戸一旗で獨立を祝いましょう
◇新生日本の再出発を記念して何卒、御用命の程を…
平指定商連盟会員
株式会社 鱗喜
國旗受註部
平市四丁目電四〇一

パインミシン　福助ミシン　芝浦ミシン　日産ミシン
PINE
販賣　月賦　現金
一式　部品　修理
飯塚ミシン商會
工場　植田町北台町九　電話二六八
営業所　植田町本町（鮫川橋側）電（呼）二〇七

神戸本場牛
特約店
第一綠屋　平市一丁目電話五三九
第二綠屋　平市中央通電話七九四

耳鼻科 咽喉科
看護婦見習 募集
高柳醫院
高柳博明
平駅前（電一一二）